

様式 4

平成 25 年度教育課程研究指定校事業実施計画書（新規指定）
 — 研究課題 4 高等学校 —

都道府県・指定都市番号	28	都道府県・指定都市名	兵庫県
-------------	----	------------	-----

公立 ・ 私立 ・ 国立 (○で囲む)

1 研究指定校の概要

ふりがな 学校名	ひょうごけんりつたつのきたこうとうがっこう 兵庫県立龍野北高等学校		ふりがな 校長氏名	まえだ まなぶ 前田 学	
所在地	〒679-4316 兵庫県たつの市新宮町芝田 125 - 2 電話 0791-75-2900 FAX 0791-75-2296 e-mail Tatsunokita_hs@pref.hyogo.lg.jp				
設置する課程 (H25.4.1見込)	全日制		(H25.4.1見込み。臨時的任用の者は常勤の者のみ含む) 教員数 74名		
生徒数 (H25.4.1.見込み)					
学科名	1年	2年	3年	4年	計
電気情報システム科	80	80	78		238
環境建設工学科	40	39	40		119
総合デザイン科	40	40	40		120
総合福祉科	40	39	39		118
看護科	40	40	39		119
看護専攻科	38	39			78
特記事項	看護科は、平成 14 年度から 5 年一貫教育を実施				

2 研究主題

教科等名	看護	教科課題番号等	①
学校における研究主題	看護実践能力を養う指導方法や実習に関する評価の工夫改善についての研究 — 統合実践実習に視点をおいて —		
研究主題設定の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・近年の生徒の傾向として、”主体性・自主性がない。患者を見ない。知ろうとしない。”など、臨床指導者からの指摘が多い。 ・本校看護専攻科においても同じような傾向があり、臨地実習における指導に苦慮している毎日である。 ・その解決策として、現在の本校の臨地実習の目標や内容・指導方法が、近年の生徒の実態に応じたものに変更する必要があると考えた。 		
研究の内容や方法等	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度より定期的に職員研修を開催し、新教育課程の共通理解や看護科の教育目標・目的の共通理解や具現化を図ってきた。 ・平成24年度は、臨地実習の目標・内容・方法の見直しや評価の内容の検討を実施した。 ・平成25年度は、本研究に取り組み臨地実習における目標・内容・方法や評価の見直しをさらに深める。また統合実践実習に視点を置き、校内演習の指導法についても工夫・改善を行い、校内演習での取り組みが臨地実習で活かせるような指導を行う。指導と評価を一体的に行い、自ら学び自ら考える力を持った生徒を育て、看護師としての「生きる力」を培うことにより、看護実践能力の向上を目指すことを目標とする。 ・本研究では、「自主性・主体性」というキーワードに着眼する。「自主性・主体性が高いほど、学習の定着度が高い」を仮説として、統合実践実習に向けた学内演習前、演習後、統合実践実習終了後の生徒の主体性と学習の定着度についての研究を行う。 		
成果の検証方法等	<ul style="list-style-type: none"> ・統合実践実習に向けた学内演習前、演習後、統合実践実習終了後の生徒のアンケートや聞き取り調査などを基にしながら、講義や演習・臨地実習における指導方法や評価の検証を行い、本校の目指すものや今後の課題をより明確にする。 		

3 研究体制等

- ・新教育課程実施に基づいた職員研修等を重ねているが、更に実践的で効果的な研修内容になるよう深化させる。(照林社や日総研主催の研修会に参加し、学びを共有する)
- ・平成 25 年度は校内で研究グループを編成し、研究を進めていく。(近隣の大学に講師依頼し、研究の指導を受ける)
- ・研究指定に伴い、看護科教職員定数の加配が承認された。

4 研究計画

実施時期	研究内容, 研究方法, 成果の公開等	期待される成果等
平成 24 年度 後半	<ul style="list-style-type: none"> ・新実習要項の検討・作成 ・新評価表の見直し・作成 ・「臨床看護総論Ⅱ」の内容の検討と精選 	<ul style="list-style-type: none"> ・最近の生徒の実態に則した実習目標や内容を工夫・改善し、生徒自身が「看護」に強い興味・関心が持てるように実感させたい。
平成 25 年度 前半	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の大学の准教授より研究の方向性について指導・助言をいただく ・各種研修会などに参加し、教員間で学びを共有する ・「自主性・主体性」に関する文献検索と文献検討を行う ・調査・研究計画書を作成する ・アンケートの検討と作成を行う ・兵庫県看護協会倫理審査申請書を提出する ・看護の統合と実践「臨床看護総論Ⅱ」の指導案の検討 ・「統合実践実習」の指導案の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・種々の研修会などや文献を通して、本校の課題や、本研究の目指すものを明らかにし、研究のテーマを絞っていく。
平成 25 年度 後半	<ul style="list-style-type: none"> ・校内演習事前アンケート調査を実施する ・看護の統合と実践「臨床看護総論Ⅱ」の校内演習を「自主性・主体性」に関する暴露を入れた指導案に基づき実施する ・校内演習の振り返りとアンケート調査を行う ・「統合実践実習」を「自主性・主体性」に関する暴露を入れた指導案に基づき実施する ・統合実践実習の振り返りとアンケート調査を行う ・アンケート調査の結果から、無作為抽出し半構成的面接におけるインタビューを実施し分析する ・研究のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に「自主性・主体性」を持たせるような、校内演習や臨地実習を実施する。 ・アンケート結果などから本校の目指すものや今後の課題をより明確にする。

5 研究のまとめや成果の普及方法等の見通し

- ・臨地実習における目標・内容・方法や評価の見直しを行ったり、リアリティのある校内演習を工夫すること、また臨地実習における指導案を作成し「自主性・主体性」のある実習を行うことにより、自ら学び自ら考えるという「生きる力」を持った生徒を育てる。
- ・研究の成果は、兵庫県高等学校教育研究会看護部会・兵庫県産業教育振興会において、実践発表や県看護部会会報、ひょうご産業教育会報などへ掲載し還元する